

「企業の気候変動問題への取り組み」をテーマに —中国広東省の大学生との交流プログラムを実施—

2021年12月16日



経済広報センターは2021年12月16日、中国広東省の人民対外友好協会と教育庁の協力を得て、「企業の気候変動問題への取り組み」をテーマに、広東省の大学生と日本企業関係者との交流会を開催した。暨南（きなん）大学、広東工業大学、華南師範大学3校の学生ら約60名が参加した。

経済広報センターは、2015年から、広東省の各大学から選抜された学生を日本に招聘し、日本の現状や企業の取り組みを理解してもらうための交流事業を実施してきた。今回も前回2020年に引き続き、新型コロナウイルスの影響によりオンラインでの開催となった。

プログラムでは、冒頭、経団連が「経団連カーボンニュートラル行動計画」「チャレンジ・ゼロ」などの取り組みを説明。その後、参加企業が登壇。まず、パナソニックオペレーショナルエクセレンス社品質・環境本部環境渉外室長の下野隆二氏が、同社のCO₂ゼロ工場や水素活用の事例などを紹介しつつ、使用エネルギーの削減とエネルギーの創出拡大を進めていることを説明した。続いて、帝人CSR管掌補佐（SDGs推進担当）の大崎修一氏が、新素材「Serreebo」の開発を通じた自動車軽量化によるCO₂削減の具体例を紹介しつつ、同社が事業を通じてどのように社会課題に貢献しているのかを解説した。また、広東工業大学の曾雪蘭教授から、広東省における気候変動問題への対応について説明があった。

学生との質疑応答では、環境配慮製品と価格の高さに対する企業努力、ごみの有効なリサイクルなどをめぐり、活発に意見が交わされた。

以上

一般財団法人

経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。